

《履修上の留意事項》【面接授業と遠隔授業の併用】

《担当者名》中田 雅美

【概 要】

地域福祉の主流化といわれる今日、地域福祉の基本的な考え方を踏まえたうえで、誰が、どのように地域福祉を担うのか。そのために専門職・関係機関はどのように取り組んでいくのか。その具体的な方法及びその実際について学ぶ。

前半では、地域福祉の基本的な考え方について学ぶとともに、地域福祉の発展過程、地域福祉の法的な位置づけ、主体と対象についても学びを深める。後半は、地域福祉の主体と対象を明確にし、関連する組織や専門職によるネットワーキング、計画策定、小地域活動などの具体例を通して地域福祉の推進方法について理解を深める。

【学習目標】

1. 地域福祉の基本的な考え方について理解する
2. 地域福祉の歴史的展開と現在求められている動向について理解する
3. 地域福祉を推進する主体としての機関・専門職などの役割について理解するとともに、多様なニーズを抱える対象に対する関わりについて検討できる
4. 地域福祉推進のために必要な「地域福祉援助」を理解し、地域で展開されるソーシャルワークについて考察することができる
5. 地域福祉実践例を通して、地域アセスメントやネットワーキング等の意義と方法を理解し、ソーシャルワーカーとしてどう行動すべきか考えられる

【学習内容】

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
1	オリエンテーション	講義の学習目標を共有し、授業のすすめ方・成績評価等を確認する	中田
2	地域福祉が求められる背景	地域福祉が求められる背景を、昨今の社会福祉を取り巻く状況から探る	中田
3	地域福祉の歴史 1	地域福祉の歴史を欧米（特に英・米）における源流から学ぶ	中田
4	地域福祉の歴史 2	日本の地域福祉の変遷と現在の位置づけを理解する	中田
5	地域福祉について考える （課題提出）	コロナ禍の地域福祉活動についてのレポートを提出	中田
6	地域福祉の基本的な考え方 1	地域福祉の基本的な考え方を、地域福祉で重視されてきた理論から学ぶ	中田
7	地域福祉の基本的な考え方 2	地域福祉の基本的な考え方を、「地域」のとらえ方を通して学ぶ	中田
8	地域福祉の主体と対象 1	地域福祉の基本的な考え方である住民主体を、実際の事例を通して理解する	中田
9	地域福祉の主体と対象 2	地域福祉の主体形成について、福祉教育の視点から理解する	中田
10	地域福祉を推進するために （課題提出）	地域福祉を推進するための方策についてのレポートを提出	中田
11	地域福祉の推進主体 1	地域福祉の推進主体のひとつである法人（社会福祉法人・NPO法人など）を知る	中田
12	地域福祉の推進主体 2	地域福祉の推進主体のひとつである民生委員や町内会について知る	中田
13	地域福祉を推進する人	地域包括支援センターで働く方のお話を聞き、地域を基盤とした福祉現場で働くことについて理解する	中田 当別町地域包括支援センター（特別講師）
14	地域福祉のこれから	前期の総括を行い、地域福祉のこれからについて考察	中田

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
		する	
15	中間総括 (課題提出)	中間課題について取り組み、レポートを提出	中田
16	オリエンテーション(後期:面接授業)	対面での授業実施のため、再度講義の学習目標を共有し、授業の進め方・成績評価等を確認する	中田
17	地域共生社会の実現を目指して1	地域社会における多様化・複雑化した地域生活課題を理解する	中田
18	地域共生社会の実現を目指して2	モデル事例を通して「地域福祉援助」について理解する	中田
19	地域を基盤としたソーシャルワーク1	地域で暮らす住民の生活課題と社会資源について理解する	中田
20	地域を基盤としたソーシャルワーク2	地域におけるネットワーキングの意義と方法について理解する	中田
21	地域を基盤としたソーシャルワーク3	地域を基盤としたソーシャルワークやコミュニティソーシャルワークについて理解する	中田
22	地域を基盤としたソーシャルワーク4	ソーシャルワーカーが行う個別アセスメントと地域アセスメントについて理解する	中田
23	地域を基盤としたソーシャルワーク5	特定の地域をアセスメントする	中田
24	地域福祉の基盤づくり1	地域住民の「参加」について考察する	中田
25	地域福祉の基盤づくり2	地域福祉計画の策定を通して地域福祉の基盤づくりについて考察する	中田
26	地域福祉の基盤づくり3	福祉サービスの評価を通して地域福祉の基盤づくりについて考察する	中田
27	コミュニティソーシャルワーカー1	社会福祉協議会やコミュニティソーシャルワーカーについて理解する	中田
28	コミュニティソーシャルワーカー2	ソーシャルワーカーの視点から地域における社会資源開発について考える	中田
29	コミュニティソーシャルワーカー3	コミュニティソーシャルワーカーの存在と意義について考察する	中田
30	これからの地域福祉を考える	地域福祉論の総括と今後の地域福祉について考える	中田

【評価方法】

- ・授業への参加状況(30%)、レポート・中間総括(20%)、定期試験(50%)により総合的に評価する。
- ・授業への参加状況は、毎回の講義終了後に提出するリアクションペーパーやGoogleフォームで確認する。

【備考】

教科書 : 特定のテキストは使用しない。毎回講義資料を配布する。

参考書 : 社会福祉士養成講座編集委員会(編)『新・社会福祉士養成講座 9 地域福祉の理論と方法 - 地域福祉論』中央法規
 岩間伸之・原田正樹(2012)『地域福祉援助をつかむ』有斐閣
 勝部麗子(2016)『ひとりぼっちをつくらない「コミュニティソーシャルワーカーの仕事」』全国社会福祉協議会

その他 : この科目は、社会福祉士・精神保健福祉士国家試験受験資格取得のための「地域福祉の理論と方法」に該当する。
 教職課程(公民)では、教科に関する科目の「社会学、経済学(国際経済を含む)」に該当する。

【学習の準備】

- ・特定の教科書を使用しないため、毎回の講義で配布する資料を保管し、学習の材料とすること。
- ・授業で配布する資料が定期試験の出題範囲となるため、資料をしっかりと見直すこと。また、随時参考となる文献等を紹介す

るため、時間外に読むなど文献と合わせて受講することで、さらに理解が深められる。

・授業開始30分以降の入室は認めない。正当な理由で遅刻した場合のみ前方のドアから入室し、理由を説明してから着席すること。

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP4,2

【実務経験】

ソーシャルワーカー(社会福祉士)

【実務経験を活かした教育内容】

主に間接援助(コミュニティワーク)について実践をおこなってきたため、科目全体に実務経験で得られた知見をふまえて講義を行う。